



高山市からの贈り物を手にするデンバー市長(右)とジャパンタイムス村山有氏(左) 昭和35年デンバー市にて



第1次親善使節団がデンバー市を訪問。昭和39年高山市長岩本晋一郎氏(団長)等21人が参加。デンバー市で4日間にわたり開催された「デンバー・高山祭」に、高山市から現地へ送った高山祭屋台(実物の3分の2程度の大きさ)と袴等で大パレードを行い、高山民踊、獅子舞等を披露。デンバー市に祭屋台および石灯ろう1基を寄贈。

高山・デンバー友好協会とは…

デンバー市と高山市の交流を促進する民間団体として、昭和52年に設立された団体。

これまでに両市の高校生の相互派遣事業や高山市内の研修医のコロラド大学病院への派遣事業、民間の文化交流事業などを実施しています。

●これまでの取り組み

① 高校生相互派遣交流

高山とデンバーの高校生を毎年交互に派遣し、市内でホームステイ体験や名所を視察し、お互いの文化を学んだり、市民同士の交流を促進しています。



② 市民海外派遣事業

飛騨高山国際協会が主催する英語スピーチコンテストなどで選ばれた高山内の中高生や一般の方を毎年海外に派遣しています。

3つのコースのうち、アメリカコースはデンバー市に派遣しており、毎年20人以上の中高生を中心とする団体が、デンバー市内で学校訪問やホームステイ体験をしています。



③ 市内研修医派遣事業

平成23年度に、両市医療関係者のネットワーク構築や海外の医療現場体験を通じた新たな知識の習得を目的とする医療交流事業が、両市長の間で合意されました。高山市からの研修医の派遣は平成25年度からスタートし、平成29年度までの5年間で、20人の研修医を派遣しています。



④ 文化・経済などの分野における民間交流

学生や研修医だけでなく、高山市とデンバー市は多様な交流を実施してきました。様々な取り組みの一つとして、高山市民吹奏楽団をはじめ、(公社)高山青年会議所、高山西高等学校等による交流があります。

同吹奏楽団は、これまで何度もデンバー市を訪問し、デンバー・ムニシパルバンドとの合同練習や現地での公演などを行ってきており、市民団体同士の交流を深めてきています。



⑤ 周年記念事業

姉妹都市提携から半世紀を迎えた平成22年は、これまでの両市の交流を振り返るとともに、姉妹都市関係を一層深めるため、両市長による共同メッセージを発信しました。公式訪問団の相互派遣等に加えて、50年間の交流の歩みを記した記念誌を作成するなど、広く両市の交流をアピールしました。

また、平成27年の55周年記念事業では、マイケル・ハンコックデンバー市長をはじめとする公式訪問団をお迎えし、歓迎式典や記念植樹等を実施しました。ハンコック市長は、高校時代に派遣事業の参加者の一人として、高山市を訪問したことがある方で、今後更なる固い信頼関係と協力関係を築いていくことを確認しました。



【これからの展望】

2年後、高山市とデンバー市は姉妹都市提携60周年を迎えます。この機会を活用して、両市の親善友好をより強化し、真に意義のある民間交流を促進していきます。そのためにも、民間交流団体である「高山・デンバー友好協会」に、より多くの皆様に会員としてご参加いただけるよう、普及啓発を行っていきます。「高山・デンバー友好協会」に関心やご興味のある方は、事務局の海外戦略課までお問い合わせください。

【問合せ】 海外戦略課 ☎ 35-3346

2018.11.15